

花には太陽を子どもには平和を

# すくほんじ

発行第250回 R5.7.10 広報委員会 小金原保育の会 幼児教室

くろみどり

小金原保育の会  
幼稚教室は

48  
周年!!

6月15日創立の日  
イベントが行われました



くるみえんの誕生日6月15日に下、出店やお芋耘いに「かわいい」と「かわいい」であります。48周年を祝い交流みことかでました。再会を喜ぶ姿もあらうこちらで見られ、くるみえんのことを思いつけてくださっているOBのちらの支えを改めて感謝しております。  
「子どもを真ん中に」この環境を守り繋いでいくよ!皆で力を合わせていきたいと思います。

そして2年後小金原保育の会 幼児教室は50周年を迎える予定です。50周年実行委員会立ちあがりました。これから計画していくことがあります。  
楽しめておね☆☆☆☆

復員会

# 根本先生お話会

## 学習委員

大雨の中、たくさんのご参加ありがとうございました。

誰かが想いを話すことによって、先生の経験の引き出しが開かれていく、そんな時間でした。また、根本先生のお話を聞くお母さん達の表情が、とても柔らかく安心した表情だった事が強く印象的でした。当日のお話の内容を一部紹介します。全部載せたいところ…泣く泣く抜粋！！

### ●くるみえんに通い始めた子ども達に対して●

どうして泣いてもいいからといってらっしゃって言ってくれなかつたって言う風に、根みーまではいってないですけど(笑)そういう風に思つて(根本先生は幼児期、集団生活の場にいませんでした)。「あんまり泣くから連れて帰つてきちゃつた」とお母さんに言われたそうです。

だから今、幼児教室に間わつて長いんですけど、そういう(泣く)子どもたちが沢山いたし、そういう(子をかわいそうに思う)親たちがいっぱいいましたけど、そこをやっぱり乗り越えてもらいたい。それは親のためじゃなくて子どものためにね。っていう思いがあるから。強くそう感じています。どうにかして(幼児教室に)いられるように。

### ●自分の子供を見る●

本を読んだり、人の話を聞いたり、専門家に言われると自分も迷うじゃない、色々。だから一番いいのはなるべくそういうのは聞かない、読まない。そしてあなたがあなた自身の子どもを見る。それしかないね。

(中略)ひとりひとり違うんだってことなの。私が言ったことをじゃあうちの子もそうしようって言つてになったのなら。それはちょっと違つて。その子はそういう子。まず自分の子はどういう子なのか、そして自分はどういう人なのか、お母さんは

### ●母について●

必ず出てくる問題なんですね。嘘と捉えるかそうでないと捉えるかで全然違つてくるし、なぜ幼児って嘘が好きなのか(笑)。そういうことで言つてたら、大人を試しているっていうことはすごくあります。大人の考えを聞こうとしているとかね。そういうのがすごくあって、困った時に[嘘も方便]っていうのがあるでしょう。昔からね。いわゆる嘘が悪い、っていうんじゃなくて、困っているときに嘘らしきこと、嘘らしき行動をするっていうのは。きっとなにか困っているんだなあと思います。

### ○くるみえんでやれていることを家でめんどくさがつたときにどうしたらいいのか?

### ●日常生活について●

それはあなたが決める事よ(笑)。やらせたいのね? 幼児教室でやっているようなことを。

基本的に、幼児教室でやっていることを家でもやらせたいっていうのは間違っています。家庭は家庭、幼児教室は集団の場。家庭は各々のやり方があつていいかなと思うから。幼児教室でやるようにはやらないでいい。だから「あなたが」ってこと。あなたがこの家のサイクルとして、リズムとして家族全員の中でどうやって気持ちはく過ごしていこうか、そこを考えていく。

一緒に楽しむっていうこと、家庭の中ですね。それぞれ違うし、やれることやれないことも、それぞれ違うから、一緒に楽しく過ごせるか。それが、それでいいんですって言われないと自信が持てない人たちが多い。そんなの誰も言ってくれない。自分で決めればいいの。と、私は思うんだけどいかでどうか(笑)。

## OBさんとのお話会

7月5日に4名のOBさんにご参加頂き、在室母とのお話会を開きました。

### 感想

今までの話をや反省話、気付いた話。涙と笑みのあついう間の2時間。数々の言葉が胸にグサッと刺さりました。大きく動かされました!! 口には、子供の言葉に過敏にならず受け流す二つの大切さ。そこで私は「私が片付けなければ世界は平和」とそんな事を許せます。ずっといいことは叶かりますが叶かないことが多い。いい子に育てようとして良い…ちゃんとしなくていいんだよ…。母の役目は次に命を繋げること。子供に今生き残す時を楽しませ、次の未来に進ませ送り出す、その様な insanitaと、OBさんのお話を通じて学びました。根本先生のお話をOBさんのお話を通じて学びました。根本先生のお話をOBさんのお話を通じて学びました。根本先生のお話をOBさんのお話を通じて学びました。

ご参加頂いた OB さん

元井智恵さん 佐藤恵美さん

お話ありがとうございました。

五味田理奈さん 太田理奈さん

OBさんとのお話し会で思ったのは、昔も今もくるみえんは、常に子ども達に寄り添ってくれているんだなということです。そして、いつでも母達の悩みをまるっと受け止めてくれる場の深さに改めて気付かされた、とても楽かる会でした。 学習委員 板橋



# 日！體！參！觀！

今年も無事行なれた日曜参観。  
今朝は新一年のお父さん方に  
感想を頂きました!ありがとうございます!

「どこへ行くよ!」と荷物を押すながらの日曜参観。やはり登園は一番乗りでした。どの子も最初は少し緊張していましたが、少し緊張したり、甘えてみたりなどいつも違う子ども達の状況の中、「いつもくつろいん」を表現するのは先生方も大変だったんじゃないかなと思います。その中でも「やりたい」「こうしたい」と言う気持ちを大切にし、お集まりで声が出てこなくてもみんなが温かく待ってあげられる姿。

うさぎ組はいかにも出ないよう、「エサはこっから食！」と子ども同士で声を掛け合ってお当番をする姿。生活の中での決まり事は先生方に一人ひとりをしがり見て声を掛けている姿。まちっとやりきる姿。その他にもたくさんの発見があり、とても楽しい時間を過ごす事ができました。(ひばり組)

(ひばり:森)

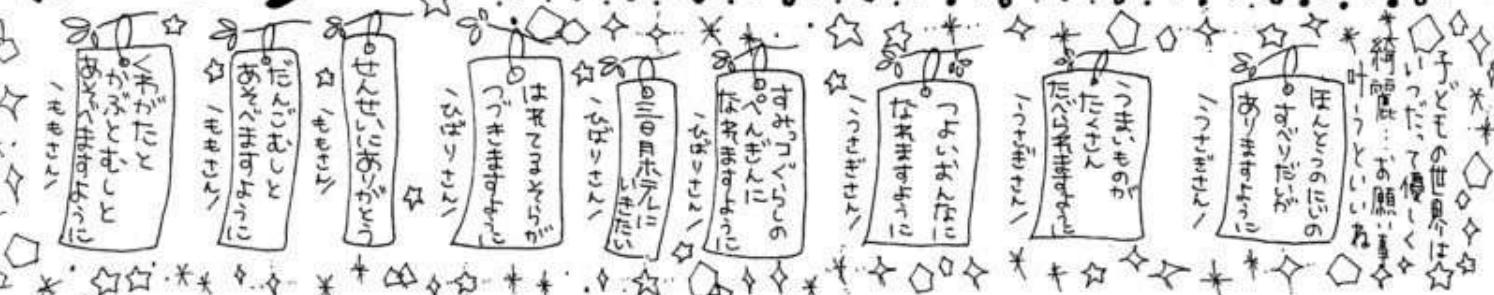
先日は、日曜参観に参加させて顶きました。先生の質問に手をあげて発言している姿を見てこちらが緊張しましたが、嬉しさもひとしおでした。折り紙このセタ食布り作りでは、先生は子どもたちが理解しやすいように、ゆっくり丁寧に話しかけていらっしゃいました。親としては「伝えたい」「教えてたい」「こうした方が良いのに」と、つい手を出してしまうところですが、折り紙の仕上がりなんかよりも、子どもたちに自分で考えさせる事と、自分なりの答えを出すまで待ってあげる事の方が大事なんだと教わりました。自由時間の様子も見ましたが、クラスのみんなが仲良く遊んでいますを見て安心しました。くつろいんに入室させて本当に良かったと思っています。これからも、子どもたちが伸び伸びと楽しく過ごせる場所であってほしいと思います。今後もよろしくお願い致します。

(ひばり:木戸橋)

薪唐りから始まる釜やご飯を炊く経験はほとんどない近くでは薪舞(薪)の時間でした。火を吹きながら薪をつけたりのぼりや釜を使ったりをしたり大きくなれないくらいの重さで、小さな頃に聖なる経験をした場所があります。私は薪はほんとありました。かくして釜を火で煮いたご飯の味がとても美味しい忘れられません。今回、参加させて頂きました。本当にありがとうございました。

(ひばり:小幡)

今年も  
ほと一息セタコーナー



×お嬢が小さくてすみません...泣



3回目 日曜参観

お父さんお母さんが見ている環境もあってかどうか、普段はイケイケドン!と積極的なところが自分たちの子ですが、意外と大人しくマイペースで先生に聞いたところ、うさぎ組にして色々周りが見えてきてる証拠との事で少しずつ成長しているんだなと感じました。

(うさぎ: 長谷川)

上の子の時から参観していく皆さんすごく子どものことを考えている保護者たちです。おきとの時に自分も立派なお父さんになっていようあさうと思っていましたが、いざ感想を言う時に慣れてどこか緊張してしまい、多くにしゃべれませんでした(笑)今回もみんなすごくしゃべれられて、こういう保護者たちが関わっているからくつろいんはずっと変わらずいい園なんだと感じました。

(うさぎ: 中山)



念願だった「薪」で、食事を炊いて食べる保育体験食の日が来ました! あははんでした。では、順番にラップと新聞を使って、かまどに火をつけていましたよ! 会田先生のかけ声で次々と木炭を投入していく中「手4、マッチに火をつけるのが怖いです...」いつも冷静沈着でしっかり者の印象の母の意外な一面にびっくりさせた。そのギャップで可憐な子に一瞬にして驚かせてしまった。その後、彼女は10年ぶりに薪火に成功。その彼女では「私もほんと何も出来ないから~」と言いつながら、言葉を手をつけてはいた太い角木をノコギリで革縫に切り落としたとき、ナタを一刀入れたまでは良かっただがそこからナタは一寸言ふことを聞いてくねずひとり格闘でした。自分のト突然で不器用な手足を目に披露していましたが、くつろいんの母たちもみんな驚いて、歓喜してました。会田先生から「手の持ち方はこうですよ」と、そしてアドバイスをもらいうでで角木が真直、二つに割れた。薪持ちが震わった。長らくの懸念症対策で途切れていた2クラスの団子たちとの交流を持ちながら、おにぎりを食べながら庭で遊ぶ姿がまたまた元気で、私も身体も温まりました。くつろいんの団子子どもたちが自分のエピソードを聞くのを楽しめにしては私もさが。その日は私も子どもたちに、おはらい経験をしてもらおう帰りました。

完成~!!



# 一般社団法人 小金原保育の会

第2回定期総会が2023年6月26日(月)に開催されました。

Q. 一般社団法人って何?

くるみえんとどんな関係なの?

代表理事を務める津田若葉さんより  
『すくほんじょ』へ御寄稿いただきました。

A. 松戸市の行政窓口より、くるみえんに対する支援、保護者の方への補助金を支給するにあたり、「社会的に認められる組織や法人格の取得」となって欲しい。」との話があり、2021年6月に一般社団法人を立ち上げました。法人は「くるみえん」の表看板といいます。

一般社団法人小金原保育の会「すくほんじょ」寄稿  
代表理事 津田 若葉

「わたしたちは、くるみえんの皆さんとともに歩んでいきます」

わたしは一般社団法人小金原保育の会、代表理事の津田です。皆さんと同じように、子どもがくるみえんに通っていました。娘が「ちゅうりっぷぐみ」だった2015年、「第1回展望を考える会」に参加して以来、くるみえんに寄り添いながら活動を続けています。

2021年6月11日、無儀化とともに松戸市からの補助金の窓口として、くるみえんを支えるため、理事4名とともに一般社団法人を設立しました。現在は8名の理事と、くるみえんにとって何が最善かを日々、話し合っています。

わたしたち理事は、ただただ『くるみえんをずっと残したい』という一心で集まったボランティアメンバーです。設立から2年と、まだ芽吹いたばかりで頼りないところもありますが、一步一步前向きに取り組んでいます。くるみえんが変わらず、そこにあり続ける。それがわたしたちの願いです。

くるみえんの今を知りたい、そして私たち法人の活動を知ってもらいたい、そんな思いから、くるみえんの皆さんとお話しする機会を作りたいと思っています。また年に2~3回開催している理事会は、和気あいあいとして笑いの絶えないトークルームです。ぜひ理事会にも遊びに来てください!

読者の皆様、広報委員の山岡です。

『すくほんじょ』は今号で記念すべき250号となります。  
250って半端な言ひ方じゃない? とお思いでしょうが、  
私は(山岡)から初めて広報委員を務めた、いわゆる「ビギナー」  
から、平成12年5月発行の第150号でした。それから  
20数年、途中、編集にかかわることを中断した  
時期もありましたが、日々感じていること、届けたい思いを  
綴らせていました。『あれから100号』……

